

2023年12月14日

地域28年ぶりの新築分譲マンションの誕生を契機にまちの魅力を発信！ 金沢区並木エリアの価値向上を目指す地域情報サイト「KYONAMI」をオープン

京浜急行電鉄株式会社（本社：横浜市西区，以下 京急電鉄）、京急不動産株式会社（本社：横浜市西区，以下 京急不動産）、相鉄不動産株式会社（本社：横浜市西区，以下 相鉄不動産）、総合地所株式会社（本社：東京都港区，以下 総合地所）および一般社団法人金沢シーサイドあしたタウン（所在地：横浜市金沢区，以下 あしたタウン）は、地域の価値向上を目指す地域情報サイト「KYONAMI（きょうなみ）（以下 本サイト）」を2023年12月14日（木）に公開いたします。

これは、かつて横浜市六大事業により生まれた広大な住宅地、金沢区並木エリアに28年ぶり※の新築分譲マンションとなる「プライムパークス横浜並木 ザ・レジデンス（以下 本物件）」の広告開始を契機に、本物件の購入検討者と想定される子育て世代等に向けて、本物件事業者である4社と、同地域で「暮らし価値向上」「情報発信」「連携・自走」を目指しエリアマネジメント活動をしているあしたタウンが協力して、金沢区並木エリアの魅力発信を行うものです。

マンション購入検討者には並木エリアで楽しく豊かに暮らせるイメージを知る機会、地域住民には地元の魅力を新たに発見する機会とすることで、エリアのさらなる価値向上を図ります。

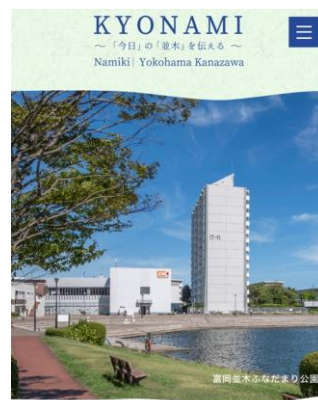
また、今後は本サイトを通じた情報発信に留まらず、地域住民が主体となり金沢区並木エリアのマップを作成するなど、リアルな場を通じた魅力発見・発信も行っていく予定です。

京急グループの住宅ブランド「プライム」では、「プライム金沢文庫」の販売活動において地域コミュニティ型マンションギャラリー「よりみちガーデン」を展開するなど、地域の特性を活かした分譲マンション事業を展開しており、地域に根づく鉄道会社の住宅ブランドとして今後も地域に合わせた取り組みを検討してまいります。詳細は別紙のとおりです。

※並木エリア（並木一丁目～三丁目）において、調査データが存在する1995年以降、新築分譲マンションでは本物件が28年ぶりの供給になります。（2023年9月時点/MRC調べ）



本物件外観イメージ



横浜市金沢区並木。かつて文豪も愛した風光明媚な地域に、横浜市六大事業として造られた平坦な街並みは、海と自然に恵まれ、商業利便にも恵まれた暮らしやすい環境が整ったエリアです。そんな並木エリアの等身大の魅力を発信します。

サイトイメージ

別紙

地域情報サイト「KYONAMI」について

1. 開設日時 2023年12月14日（木）15:00

2. サイト名称について

「金沢区並木エリアの日常にある魅力を発信する」との思いを込めて、「今」日の「並」木を伝える＝「きょうなみ（KYONAMI）」としました。

3. 主なコンテンツ

- (1) 地域住民目線による座談会
- (2) シーサイドライン沿線紹介
- (3) 施設／店舗等の紹介記事
- (4) エリアマップの作成

※ (3) に関しては、順次あしたタウンが実施している地域住民による取材活動「情報コンシェルジュ」が記事を執筆します。

3. URL <https://www.kyou-nami.jp>

参考

1. プライムパークス横浜並木 ザ・レジデンスについて

敷地面積 19,000 m²超、7棟構成の総戸数 509 戸の大規模レジデンス。高断熱・高効率設備の導入により、「ZEH-M Oriented」認証を取得予定。

(1) 物件概要

所在地	東敷地	神奈川県横浜市金沢区並木三丁目 1-1（地番）
	西敷地	神奈川県横浜市金沢区並木三丁目 2-1 他（地番）
交通	シーサイドライン「幸浦」駅徒歩4～5分	
敷地面積	東敷地	7,139.95 m ²
	西敷地	11,271.52 m ²
構造・規模	東敷地	鉄筋コンクリート造地上7階建
	西敷地	鉄筋コンクリート造地上7階建
総戸数	2敷地合計	509戸
	東敷地	199戸
	西敷地	310戸
間取り	2LDK～4LDK	
専有面積	東敷地	58.86 m ² ～81.44 m ²
	西敷地	55.62 m ² ～89.30 m ²
販売予定時期	2024年4月下旬	
入居開始予定	東敷地	2025年3月下旬
	西敷地	2025年5月下旬
売主	京急電鉄，京急不動産，相鉄不動産，総合地所	
設計・監理・施工	株式会社長谷工コーポレーション	

(2) 物件ホームページ

<https://www.prime-keikyu.jp/p-namiki/>



現地案内図

2. 一般社団法人金沢シーサイドあしたのタウンについて

あした世代（こども，若者，子育て世帯）が住みたくなる，住み続けたい街へとしていくことで，持続可能な金沢シーサイドタウンを実現するためのプロジェクトです。一般社団法人金沢シーサイドあしたのタウンが中心となって，地域や周辺の関係団体，企業と連携し，地域交流拠点並木ラボを運営しながら，①子育て，②いきいき，③つながり，④場づくり，⑤住まいの5つの柱で活動を展開しています。